



「公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を」へのお問い合わせは

☎ 03-6280-3214

<https://www.yumewo.org/>
[受付時間] 平日9:30~17:00

〒104-0042 東京都中央区入船2-9-10 五條ビル 4A
沖縄事務所 〒904-0417 沖縄県国頭郡恩納村真栄田3537-2 青と碧と白と沖縄

2022年1月発行

ANNUAL REPORT 2021

年間事業報告書

2020.11-2021.10



公益社団法人
難病の子どもとその家族へ夢を

ORGANIZATION OVERVIEW

団体概要

私たちの役割

「公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を」
[通称:Hope&Wish (ホープ& ウィッシュ)]は、
家族皆が心から笑いあえる時間と場、機会を提供しています。

◎Give & Give いのち、を社会で育み合う

難病を患う子どもとその家族との永続的な交流を機に、
"家族""いのち""しあわせ"を社会で共に育み合う場を創出します。

社名 公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を[通称:Hope & Wish(ホープ & ウィッシュ)]
設立 2010年3月 一般社団法人設立
2012年11月 公益社団法人認定(内閣府)
米国フロリダ州非営利慈善団体
「ギブ・キッズ・ザ・ワールド」認証姉妹団体

ミッション 難病を患う子どもとその家族との永続的な交流をもとに、"家族""いのち""しあわせ"を社会で共に育み合う場を創出します。この活動によって、女性力の向上、少子化社会対策、ダイバーシティ対策、クオリティー・オブ・ハピネス(QOH)の価値観の創出を促すことを目的としています。

活動内容

- ウィッシュ・バケーション(旅行中の社会的ケアや金銭面も含め、難病を患う子どもとその家族全員に楽しんでいただくバケーション)の実施
- ご家族のレスパイト(休息)のための施設「Hope&Wishバケーションハウス 青と碧と白と沖縄」の管理運営
- 当団体の活動に参加されたご家族の姿を描いたドキュメンタリー映画『Given～いま、ここ、にあるしあわせ～』の企画・製作及び上映
- 当団体の活動に参加された母たちによる女性和太鼓奏団「ひまわりのやうに」運営支援
- 当団体の活動経験を活かした小児訪問看護ステーション「ダイジョブ」の管理運営
- 故日野原重明先生追悼プロジェクト「いのちの授業」の実施運営
- 難病の子どもと家族へ就労支援をする、職業紹介事業所「出番です!」の管理運営
- 児童発達支援事業「ダイジョブ・プラス」の管理運営

代表 大住 力(元・株式会社 オリエンタルランド)

永久最高顧問 日野原 重明(元 聖路加国際病院 名誉院長)
※2017年7月逝去 享年105歳



顧問 一橋大学 名誉教授 野中 郁次郎

アドバイザー 聖路加国際病院 特別顧問 細谷 亮太
OBI HOLDINGS PTE LTD CEO 永山要 ほか

所在地 〒104-0042 東京都中央区入船2-9-10 五條ビル 4A

連絡先 TEL » 03-6280-3214 FAX » 03-6280-3215

URL » <https://www.yumewo.org/> Email » info@yumewo.org

FB » <https://www.facebook.com/yumewo.org>

沖縄事務所 〒904-0417 沖縄県国頭郡恩納村真栄田3537-2 青と碧と白と沖縄

御礼とご挨拶

日頃より、Hope&Wish公益社団法人難病の子どもとその家族へ夢をの活動に、ご支援、ご協力を頂いており、真にありがとうございます。

私たちはこの2年間、長引くCOVID-19、新型コロナウィルス感染拡大により、我が国のみならず世界規模で、現在も大きく日常生活を脅かされています。“将来”が見えない、予測ができないという状況は、これほども私たちを肉体的のみならず、精神的、社会的な健康にダメージを与えていたと実感しています。

しかし、昨年の2021年には、そのような状況下にありながらも、悪いことだけでなく、嬉しいこともあります。1年間の延期となって、その開催に賛否両論もありましたが、“東京2020オリンピック&パラリンピック”もその一つだったと思います。

多くの感動のシーンの中でも、私の個人的な印象では、パラリンピックで“ガイド”と呼ばれる、視覚や聴覚など身体に障害のあるプレーヤーに寄り添うサポート役の“ガイド”的存在が強く残っています。あれほど“プレーヤーとサポート役”が、本音、本心、本気でゴール、夢の実現に向けて頑張っていた姿には、私自身も大きな勇気とエネルギーをもらいました。プレーヤーが病気や障害を乗り越えて挑戦する姿は、これまでの大会でも見たことがありますが、本大会の各メディアの採り上げ方には、共に本気で向き合うサポート役の“ガイド”にも焦点が当てられていたように思いました。

特に長距離の女子マラソンでは、見事に優勝された道下美里選手の表彰式での一幕は、それをすべて物語っているようでした。世界中の誰もが憧れる“金メダル”を道下選手自身の首に掛けられようとした瞬間、道下選手は自分の首からすぐに外し、ますます誰よりも自分を支えてくれた“ガイド”的な青山由佳さんの首に掛けました。あまりの一連のなんとも“自然な”流れに、誰もが驚くばかりでした。

“金メダル”は誰もが欲しく、夢魅る、頂点でっぷんの光景と思います。しかし、道下選手はそのような“欲”的な視点ではなく、今日ここまでともに生き、過ごしてきた“同志”を称えてくれました。“ガイド”は、むしろ“サポート”役として、傍にいてくれ、支えてくれる“役”ではなく、身体的、精神的、社会的すべてに必要不可欠な“存在”であって、時には衝突や意思疎通が合わなく不安や不満もあったでしょうが、それらをすべて乗り越えて、同じ夢を頂き、ともに一歩一歩成長してきた“同志”だったと感じました。

そして、表彰インタビューでは、お互いがお互いを称え合い、自分のことよりも目の前の人を褒め、励まし、笑顔とともに歓んでいる姿は、これ以上のいのちの歓びは無いと思えました。

さて、今年2022年は、どのような一年になるのでしょうか。時の中には、将来が見えなくて、不安や不満が募っていく時もありますが、同じ時の中にも歓びやしあわせが瞬間的でも魅える時もあるものです。苦しく辛い状況の中で、なかなかその瞬間に気づくことは難しいですが、いま、間違いなく、目の前にしあわせも溢れているものです。

大切なことは、私たち一人ひとりが、いつもその目の前のしあわせに気づくことができるよう、悪い方や悪い事ばかりを考えたり、受け身になったりするのではなく、いかなる環境、状況においても明るく、光の方向を魅つめ、嬉しい事に気づこうとする心だと思います。空には大きな雲が流れ、夜には星も輝いてくれています。目の前には小さな花が道路脇に咲いてくれていたり、葉の中には小さく可愛い虫たちも一生懸命に生きています。

今年一年も、目の前の人、いのちと共に、嬉しいゴールを目指して励んでいきましょう。

Hope & Wish 「公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を」

代表理事

大住 力



表紙:あさひ君
(訪問看護ステーションダイジョブ利用)

CONTENTS

団体概要	P1
御礼とご挨拶	P2
私たちが目指す流れ	P3
「青と碧と白と沖縄」	P5
ウィッシュ・バケーション	P7
訪問看護ステーション「ダイジョブ」	P8
発達支援事業「ダイジョブ プラス」	
本年度の主な活動	P9
SPECIAL THANKS	P13
私たちの道のり、そして、これから	P15
財務会計報告	P17
さまざまな支援方法・寄付使途	P18

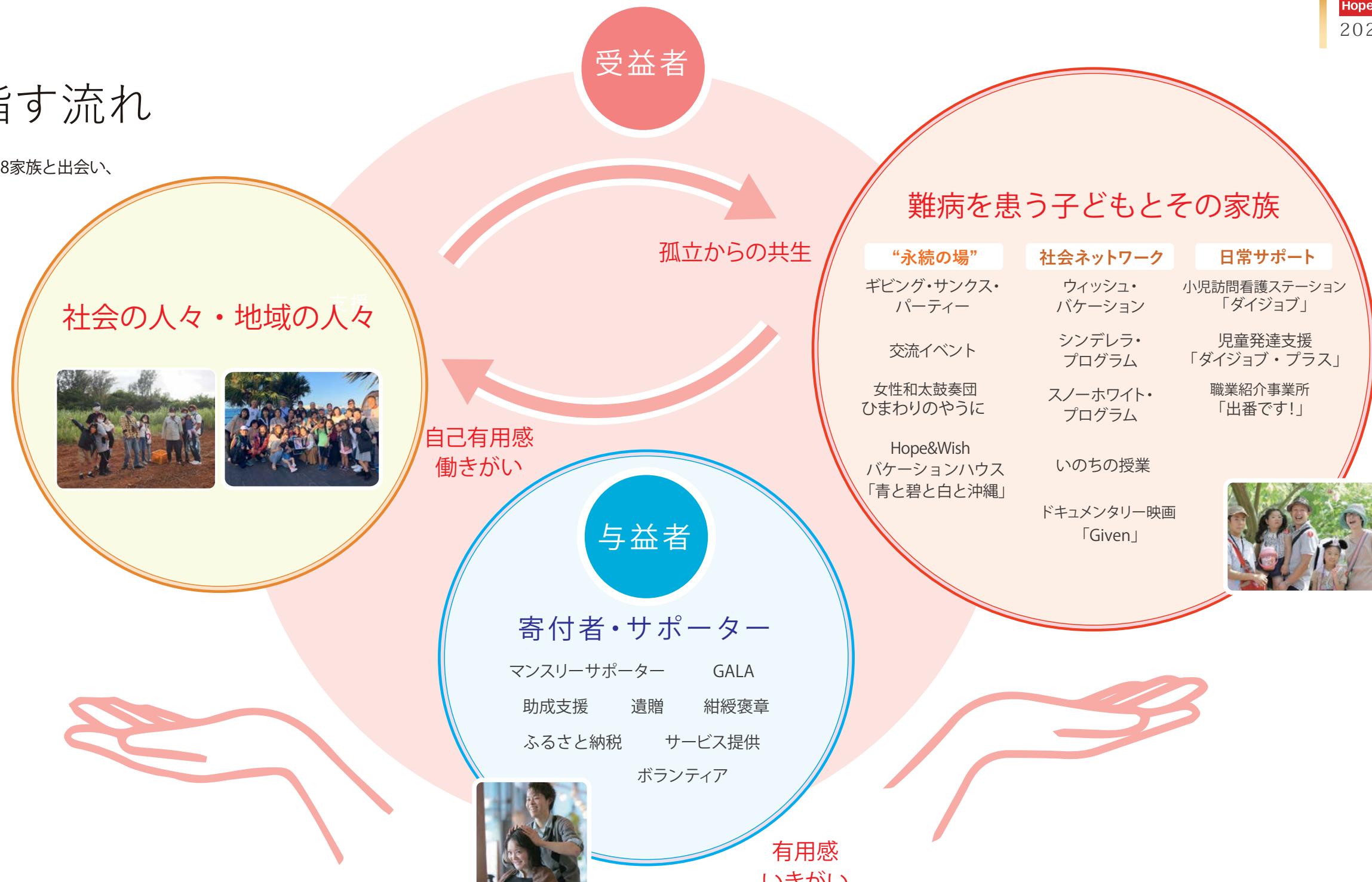


VALUE MAP -私たちの活動-

私たちが目指す流れ

私たちはこれまで活動を通じて、約318家族と出会い、
交流を深めています。

そして、何よりも強く感じるのは、
"家族・いのち・しあわせ"という
生きる本質について
本気で向き合っている考え方や
生きざまの素晴らしいです。
私たちはこのような家族の
さまざまな"チカラ"を、社会に還元し、
社会全体を生きる歓びで明るくする
活動を目指しています。



「期待」される団体としての役割▶

「相互扶助」の精神を基に、どのような境遇においても、
安心して子を産み、社会で「家族・家庭」を育む仕組みを整備します

「公益法人」としての役割▶

晩婚化、未婚化、少子化社会などの「人口課題」、家庭内問題、片親支援、
障がい者雇用などの「人権課題」のソーシャルインパクト(社会的効果)の創出

Hope&Wishバケーションハウス

青と碧と白と沖縄 あおとあおとしろとおきなわ



Hope&Wishバケーションハウス青と碧と白と沖縄

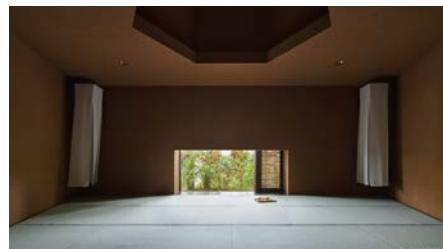
2020年3月に開業した HOPE & WISH バケーションハウス青と碧と白と沖縄も、今年も新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、外出や沖縄に来島頂ける機会も大幅に制限、規制され、心ゆくまで利用頂くことはできませんでした。しかし、そのような環境の下でも、訪れてくださった家族、親子、夫婦、仲間、おひとり様などの方々に、多くの“いま、を生きるストーリー”を魅せていただきました。

チェックアウトして、ハウスから専用駐車場へは、約50 メートルくらい、のんびりと歩いて向かいます。あるお父様はそこで歩きながら、家族に向かって「さあ、“日常”に帰るぞ!」と声をかけられました。その声に奥様も下を向きながらも優しい微笑みの顔が魅られました。

どのような日常かは御本人にしか解らないことですが、私たちは今後も、ほんの少しでも心から笑え、“いま”を歓びとして実感できる場を創っていきたいと思っております。

しあわせは“目の前”にあります。

“非日常”的な場、HOPE & WISH バケーションハウス青と碧と白と沖縄から、“日常”をゆっくりとした心で魅れたら、そこに、これまで気づかなかつしあわせが溢れて魅えてきます。



Hope&Wish バケーションハウス 青と碧と白と沖縄

施設名称：ホープアンドウイッシュ バケーションハウス あおとあおとしろとおきなわ

開業：2020年3月15日

所在地：沖縄県国頭郡恩納村字真栄田3537-2

敷地面積：約2284m²(約700坪・将来計画地含)

建物延床面積：317.50m²(約97坪)

交通(アクセス)：那覇空港より車で約60分

客室数：4室 その他多目的室、キッチン、浴場

管理運営：公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を



okinawa

Hope&Wish バケーションクラブ

Hope&Wishバケーションクラブは、バケーションハウスを利用していくだく際に入会をお願いしております。
バケーションクラブに入会していくことで、特別価格での宿泊、そして季刊誌「夢を」を定期的にお届けします。



■バケーションクラブ入会条件

- ・0~20歳未満の難病を患う子どもとその家族
- ・病気により子どもを亡くされた家族

■バケーションクラブ入会金・年会費

- ・入会金:2,000円
- ・年会費:3,000円

(4月~3月の一年間・途中入会でも4月更新となります)

■バケーションクラブ会員宿泊

- ・1泊1部屋、10,000円(税別)より
 - ・最大3泊まで連泊可能
 - ・定員1部屋4名(大人の場合)まで
 - ・2部屋以上をご希望の場合は料金が異なります
 - ・クラブ会員価格での宿泊は、病児から見た一等親まで
- ※金額はシーズン等により異なります。お問い合わせください。
※人数、部屋数にご希望のある方はご相談ください。



お子さまが病気を患うご家族だけでなく、一般の方にもご宿泊していただき、拡く交流を図っていただきたいです。
お申し込み方法が異なりますので、お間違のないようお願いいたします。

難病を患う子どもとその家族
上記バケーションクラブへの入会をしていただきます

難病の子どもとその家族へ夢を
ホームページ



※お申し込みフォームよりお申し込みください

それ以外の方

青と碧と白と沖縄
ホームページ



※「ご予約」よりお申し込みください

楽天トラベル
ホームページ



家族全員旅行 ウィッシュ・バケーション

”家族みんなで旅行に行きたい”

当団体の主な活動のひとつである、ウィッシュ・バケーション。

難病を患う子どもとそのご家族全員を

無償で旅行に招待するこのプログラムは、

ご家族とついつも少し違う”家族全員の時間”となり、

家族みんなで笑い合うひとときになっています。

「家族全員で旅行にいきたい」

「同じ景色を見て、ご飯を食べて、お風呂に入っておしゃべりしたい」

そんなご家族の願いをかたちにしたのが、

ウィッシュ・バケーションです。

また、ウィッシュ・バケーションは、多くの地元の企業や協力者が、

ご家族をあたたかく迎えてくれることも大きな特徴のひとつです。

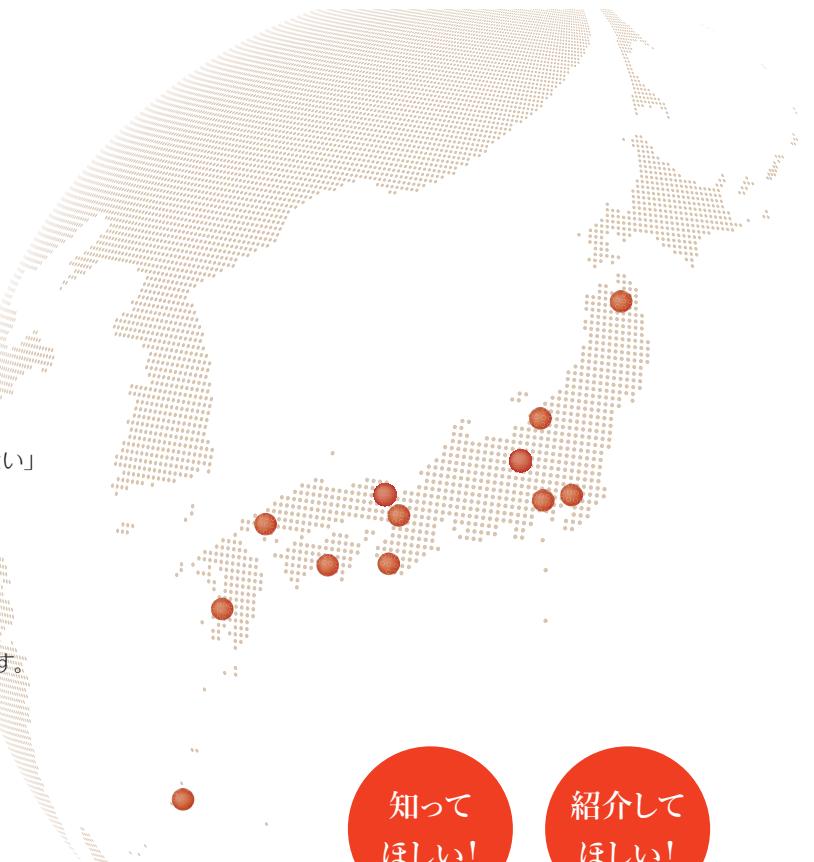
「よう来たね」そんな言葉に迎えられ、ご家族も、

人って社会ってあったかい、と感じる場にもなっています。

現在、ウィッシュ・バケーションは、

多くの方々のご協力を得て、日本各地に広がっています。

(全国12カ所・2021年現在)



知
つ
て
ほ
しい!

紹
介
し
て
ほ
しい!



青森
星野リゾート



新潟
舞子リゾート



東京
東京ディズニーランド・浅草



神奈川
湘南・鎌倉



大阪
ユニバーサル・スタジオ・ジャパン
ヘアサロン



長野
車山高原



和歌山
高野山



高知
室戸



広島
福山



長崎
伊王島



沖縄
恩納村



京都
京都るり渓温泉

誰が参加
できるの?

- 難病のため闘病中、通院中のお子さま（0～20歳未満）とそのご家族全員※難病指定外の方もご相談ください
- 家族全員で前向きに参加できるご家族
- 担当医師より旅行外泊許可を得られる方（家族全員旅行ウィッシュ・バケーションをご希望の場合）

※主要駅からの交通費・宿泊費・テーマパークチケット代は、当方より無償にて提供致します。
※その他、別途発生いたしました費用はご負担をお願いする場合がございます。

日常サポート事業・小児訪問看護ステーション

ダイジョブ



日常サポート事業・発達支援事業

ダイジョブプラス+



2021年はダイジョブ設立より4年が経過しました。0歳児であった赤ちゃんたちが保育園や療育施設へ通うようになり社会への一歩を踏み出すようになりました。今年は医療的ケア児支援法が可決され、障害や医療的ケアの有無に関わらず安心して子どもを産み育てることができる社会を日本全体が目指すように動き始めています。

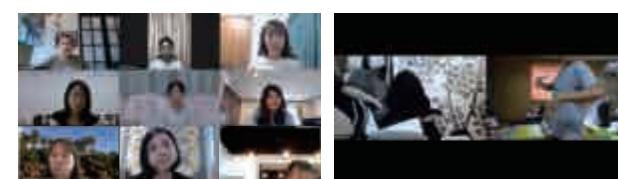
ダイジョブでは、退院してきたお子さまが成長するために訪問看護として早期支援を行ってきました。スタッフ一人一人が子どもたちの個性を大切にし、ご家族と真摯に向き合う看護を提供しております。その想いが伝わっているのか、ダイジョブを利用されているご家族から沢山の笑顔を頂いた一年となりました。

また、今年は児童発達支援「ダイジョブプラス」を開設しました。居宅型児童発達支援や保育所等訪問を中心に福祉制度を使い、社会への一歩を踏み出すための支援を行うことができてあります。子どもやご家族を社会参加させるお手伝いをすることで成長発達がこんなにも良い方向に変化していく姿を沢山みせていただきました。それと同時に医療ケア児の受け入れが初めてとなる保育園や小学校の戸惑いや課題を知る機会になりました。

今後も「医療と福祉」を掛け合わせながら、疾患のあるお子さまが「その子らしく」子どもを育てるご家族が「ご家族らしく」生活していくように看護を提供していかなければと思っております。



●ダイジョブ オンライン勉強会・研修会



ダイジョブでは、子どもたちが「安心・リラックス」できる予防環境をつくることをめざしています。対面の研修はじめ、オンライン等でも学びを深めていきました。

●実習生の受け入れ

医療者、看護師を目指す実習生の受け入れも積極的に行ってています。

●シンデレラ・プログラム／スノーホワイト・プログラム



シンデレラ・プログラム
スノーホワイト・プログラム
って?
外出が困難なご家族のために
病室やご自宅など、
ご家族みんなが楽しめる
オーダーメイドの
ホームパーティ等を
実施します。

ご家族のかけがえのない時間を創るために、スタッフそれぞれがその家族が喜ぶことを考えて一人一人が役割をもって関わります。ご家族も関わるスタッフも「嬉しい、楽しい」を分かち合える時間をつくることができました。

本年度の主な活動

11月

● ウィッシュ・バケーション@大阪

ユニバーサル・スタジオ・ジャパンを訪れ、美容院でヘアカットを体験する等のプログラムを実施しました。



● ウィッシュ・バケーション@沖縄 @Hope&Wishバケーションハウス 青と碧と白と沖縄

沖縄県恩納村にある、Hope&Wishバケーションハウス 青と碧と白と沖縄にて、地元の方々のご協力をいただきながら、ウィッシュ・バケーションを実施し、バケーションハウスでゆっくりとした時間を過ごしていただきました。



1

1月

● 乗馬&聖水汲み体験@沖縄

沖縄の歴史ある新春行事として聖水汲み体験を実施しました。また、Hope&Wishバケーションハウス 青と碧と白と沖縄 の徒歩圏内にある馬牧場にてご協力いただき、乗馬体験も実施しました。



3月

● ウィッシュ・バケーション@舞子スノーリゾート

株式会社ホスピタリティオペレーションズ・株式会社舞子リゾートの皆さま、障がいスキースクール・ネージュの皆さまのサポートのもと、家族みんなでスキーを楽しみました。



● オンライン ウィッシュ・バケーション@沖縄

コロナ禍において実際のウィッシュ・バケーションの参加が難しいご家族に対して、定期的にオンラインでのウィッシュ・バケーションを実施しています。その土地ならではの名物などをご自宅に事前に送り、五感を使ってバケーションを楽しんでもらいます。



2020/11

12

2021/1

2

3

4

12月

● ウィッシュ・バケーション@長崎

長崎県伊王島にあるi+Land nagasakiの全面協力の元、ご家族は自然のアクティビティや光のエンターテイメントを楽しみました。



● クリスマスイベント@沖縄・琉球村

沖縄県にある琉球村ご協力の元、シーサーの絵付けをしたり、Hope&Wishバケーションハウス 青と碧と白と沖縄で、クリスマスのお祝いをしました。



2月

● オンラインコミュニティ「パパclub」

当法人オリジナルのコミュニティサイト「TUNAG」(ツナグ)の中で、オンライン交流会「TUNAGパパClub」を定期的に開催しています。ご家族のお父さんが発起人となり、各地にいる難病を患う子どもの父、母が参加して、お互いの本音を語る場所になっています。



● 小児看護学会で発表

小児看護学会災害研修において、コロナ禍における訪問看護の現状について当方小林瑞穂より発表をいたしました。

● 女性和太鼓奏団「ひまわりのやうに」演奏

「さわかみグループを知ってもらおう会」という一般に向けた企業イベントで演奏しました。今回はメンバーによるスピーチもし、人と人との繋がりの大切さを会場の皆さまへ伝える機会となりました。



女性和太鼓奏団「ひまわりのやうに」

メンバー全員が難病を患う子どもを授かった母たちで結成された和太鼓奏団です。2015年8月に結成され、これまで様々なイベントや企業、刑務所など多くの場所で演奏とスピーチを通して活動をしてきました。病児を見ながら月に一度だけ和太鼓を叩き、「本気で生きる」ことを聴いてくださる方々に伝えていきます。

● kazu foto 撮影会@沖縄

日頃から活動の写真を撮影いただいているプロカメラマンのkazuさんに、沖縄で地元の方々を巻き込んだ撮影会を実施していただきました。



本年度の主な活動



5月

●オンライン ウィッシュ・バケーション@福山

以前実際のウィッシュ・バケーション@福山に参加したご家族と、福山の協力者の皆さまをオンラインで繋いで、懐かしく嬉しい同窓会となりました。



●シンデレラ・プログラム

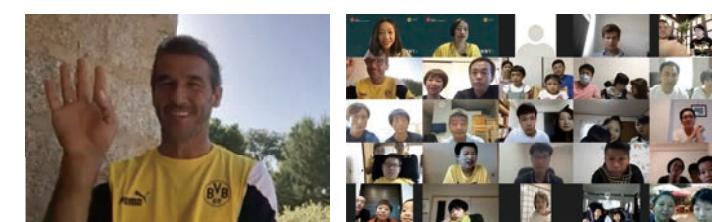
外出が困難なご家族のために病室やご自宅など、ご家族みんなが楽しめるプログラムを実施しています。今回はご自宅そばの公園でピクニックパーティを実施しました。



8月

●オンライン交流会 ドイツ・ボルシア・ドルトムント カール・ハインツ・リードレ氏

支援企業であるシンガポールのBybit社が、ドイツのサッカーチーム、ボルシア・ドルトムントの国際スポンサーを務めているご縁で、元ドイツ代表選手でボルシア・ドルトムント国際親善大使のカール・ハインツ・リードレ氏との交流会が実現しました。



9月

●女性和太鼓奏団「ひまわりのやうに」演奏

横浜パシフィコで行われた、さわかみ投信運用報告会において、和太鼓の演奏をさせていただきました。指導者である原田嘉子氏にもご一緒いただき、より迫力ある演奏となりました。



●「ビタミン基金」設立

法人向けの健康経営を実践することにつながる「ビタミン基金」を設立しました。生活習慣病や出産・育児、ワーク＆ライフバランス、ダイバーシティなど、幅広い課題に対したセミナー等を実施します。また、年間を通じて、熱心に「健康」について積極的に参加された企業への表彰もいたします。



5

6

7

8

9

10



●「一度しかない人生を『どう生きるか』 がわかる 100年カレンダー」発刊

代表大住力の著書「一度しかない人生を『どう生きるか』がわかる 100年カレンダー」が発刊されました。一度きりの人生を、思う存分生き尽くしたと心から言い切るために、いま何をすべきか。命がつくる最後の日まで、どのようなことに時間を使い、情熱を燃やし、何者として生きるのか。自分と向き合う一冊です。



7月

●ウィッシュ・バケーション@京都

初夏の京都、るり渓谷に位置する「京都るり渓温泉 for REST RESORT」の大きなご協力のもと、ウィッシュ・バケーション@京都を実施しました。グランピングBBQ、ボルダリングやプールなど、様々なアクティビティを楽しみました。



●女性和太鼓奏団「ひまわりのやうに」演奏

「社会貢献支援財団」という、社会貢献活動の普及と社会の進展に寄与することを目的とした団体の、創立50周年記念の式典で、演奏の場をいただきました。舞台は帝国ホテル。貴重な場での演奏の機会に、より力の入った演奏となりました。

●故・日野原重明先生 追悼プロジェクト「いのちの授業」

「いのちの授業」は主に小学生に向けて実施することが多いのですが、今回は小学校の先生に向けて出前授業講演を横浜にて実施しました。

●日本小児看護学会で発表

第31回日本小児看護学会学術集会のテーマセッションにおいて、当方小林瑞穂より発表をいたしました。

●「Ready to Stand」(立ち上がる勇気)プロジェクト始動

当法人代表大住の新著「一度しかない人生を『どう生きるか』がわかる100年カレンダー」の内容を、実際に大住が自ら指導するセミナーが全国各地で始まっています。このセミナーは、誰でもが自身の人生を本気で考え、本気で生きていくために、自身の命が終わりになる時期までを設定し、ゴールを決めて、自身と向かい合っていく為のセミナーです。書籍発刊もセミナーも、そもそも、全国で「Ready to Stand」(立ち上がる勇気)プロジェクト!というものを実施したく、始まったという背景があります。本プロジェクトは、誰もが堂々と生き、勇気と自信を持って自身の一度しかない人生を切り開き、今日生きていて良かった、と思っていただけになることを願って始まりました。難病を患って、仮に不便な生活を強いられても前進しようとするご家族の生き様など、父や母、当事者の子どもたちが本心で講師として登壇し、就労支援の一つとしても活躍できる場をつくりました。自分の生まれ年の100年カレンダーを前に、時に思い出し笑いをしたり、時に涙しながら、写真やシンボルを貼ったりして、ご自分と深く向き合っていらっしゃいました。本プロジェクトのセミナーは、全国で誰もが参加できる機会を多く作って参りますので、どうか、お近くの地域でご参加下さい。



※詳しくはこちから



Special Thanks

たくさんの愛をありがとうございます

本年も当団体の活動に、個人、企業・団体の皆さんから、熱いご支援・ご協力をいただきました。
すべての皆さんに、心より深く感謝申し上げます。



■協力団体

当団体の活動に“協働”、
ご協力をいただきました。

公益財団法人日本財団様
公益社団法人日本看護協会様
公益社団法人日本助産師会様
公益社団法人日本歯科医師会様
公益社団法人ガールスカウト日本連盟様
公益財団法人社会貢献支援財団様
新老人の会様 ほか

■メッセンジャー

当団体の想い・活動を
広く社会に伝えていただきました。

医師:故・日野原重明様
大学名誉教授:野中郁次郎様
医師:細谷亮太様 ほか



舞子リゾート様

■ドネーション(ご寄付)

当団体の活動を支えるための
ご寄付をいただきました。

個人・企業・団体
計 1228名・社(団体)



京都るり渓様



京都るり渓様

■アクション

当団体の活動「ウィッシュ・バケーション」において、物資やサービス提供を通じてご支援をいただきました。

●宿泊施設やイベント会場をご提供
株式会社浦安プライトンホテル様
株式会社 KPG HOTEL&RESORT様
高野山真言宗 総本山金剛峯寺様
一般社団法人東京アメリカンクラブ様
株式会社ホロニック様
株式会社舞子リゾート様 ほか

●医療面でのサポート
社団医療法人 敬愛会様
医療法人 恕泉会様
医療法人 治久会様 ほか

●参加したご家族のヘアカットなどの
サービスをご提供
株式会社 GARDEN様
株式会社レスイズモア様 ほか

●移動に関するサービスのご提供
スカイマーク株式会社様
両備ホールディングス株式会社様
グッドカードライフ株式会社様 ほか

●参加者に、人力車による観光サービスをご提供
株式会社エビスエンタープライズ様

●参加者に、名物商品、食事をご提供
浅草 花月堂様 肉や食堂inへんざ ほか

●参加者に、似顔絵をご提供
カリカチュア・ジャパン株式会社様

●参加者に、プログラムをご提供
多幸山株式会社様 (琉球村) コープおきなわ様
一般社団法人HALO様 リラクゼーションエステYOU海様
株式会社ぬちまーす様 株式会社高江洲製塩所様
沖縄県エステティック・スパ協働組合様
日本郵船株式会社様 邮船クルーズ株式会社様 ほか

●地元の方によるご支援
新城彰様 当真嗣平様 徳元佳代子様 ほか

●家族の誕生日等のアニバーサリー時に
プレゼント・サービスをご提供
株式会社アウラ様 株式会社アミティ様
株式会社ティコク製薬社様 ほか



ボルシア・ドルトムント
カール・ハイツ・リードレ様

■ドリーム

プロスポーツ＆アーティスト界から
夢と勇気をいただきました。

[プロスポーツ]
ドイツ・ボルシア・ドルトムント様
公益社団法人 ジャパンプロフェッショナル
バスケットボールリーグ様
読売巨人軍 炭谷銀仁朗様
埼玉西武ライオンズ 武隈祥太様
一般社団法人 なでしこケア様
PGA TOUR 様 木村光宏 様 木村沙友希 様

[アーティスト]
シンガー 綾戸智恵様
ピアニスト 西村由紀江様
ブルースハーモニカ KOTEZ様
トランペッター 多田暁様



■CSR活動

たくさんの企業様から事業活動を通じて、
ご協力いただきました。

株式会社 ホスピタリティオペレーションズ様
サイバーソリューションズ株式会社様
社会福祉法人 真宗協会様
株式会社 ベネフィット・ワン様
スギホールディングス株式会社様
株式会社スヴェンソン様
ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ様
ヤンセンファーマ株式会社様
ゴールドマン・サックス・アセット
・マネジメント株式会社様
OBI HOLDINGS PTE LTD様
bybit様

第一三共株式会社様
エーザイ株式会社様
株式会社ゼン様
株式会社リグア様

■ファミリー

これまで約318の
ご家族が活動に参加され、
社会の人々に
いのちと“底力”を
教えてくださいました

私たちの道のり、そして、これから

● Hope & Wish設立

「もし、夢がかなうとしたら、何をしたい?」と難病を患う子どもに尋ねると、その多くが「ディズニーランドに行きたい!」と答えます。そんな“夢の場所”に勤めていた大住力が、「自分の役割」を考え、Hope&Wish「公益社団法人難病の子どもとその家族へ夢」を立ち上げました。

PPD (Parents Permanent Dialogue)

● 両親との会話

ご両親との対話は、お父さん、お母さんご自身の生まれた頃のお話、半生も懐かしく振り返ります。そのような時間から「家族・いのち・しあわせ」の本当の意味を教えていただきます。私たちは“支援する”側ではなく、“学ぶ”側だったのです。



国際ビジネス賞

● スティーヴィー賞 金賞受賞

フランス・パリでの授賞式では、大阪の米田さん全員に列席をいただき、スピーチを披露いただきました。



女性和太鼓奏団

● 「ひまわりのやうに」創設

メンバー全員が、難病を患う子どものお母さんです。忙しい時間をやりくりして、練習を重ね、様々な場で演奏を披露しています。贈られる拍手と喝采が、彼女たちの自信につながり、明るい光で社会をも照らしています。



● ウィッシュ・バケーション @大阪、沖縄、広島、長崎、高知、新潟…

2010

大切なことは、家族が本当に“しあわせを実感できる場所”をつくることです。全国12ヶ所の協力地に支えられ、様々な場所で実施しています。



2014



● 映画製作 『Given～いま、ここ、にあるしあわせ～』

難病を患う子どもとその家族の日々の暮らしを、より多くの方に知っていただくために、3家族に密着しドキュメンタリー映画を完成させました。本当の「家族・いのち・しあわせ」について、また、新たな気づきがありました。



2016

2017

家族のもとに出向いて…

● ホームパーティーの開催

難病の子どもたちの中には、外出できない子どもや、ベッドを離れない子どもも大勢います。そして、そのほとんどは“お母さん”がずっと見て、育てています。そちらに出向いて行うパーティーを実施しています。



難病の子どもと家族のための就労支援

● 職業紹介事業所「出番です!」を開設

難病を患う子どもと家族の就労支援事業をスタートさせました。社会の一員として、しっかりと“ひとのために”働く環境を整備します。

日野原重明先生のプログラムを継承

● 「いのちの授業」

当団体永久名誉顧問・医師の日野原重明先生が全国の小学校で行ってきた「いのちの授業」を、私たちが受け継ぎ、主に小学生を対象に“いのち”をテーマにした、無料出前授業を実施しています。

2018

2019

2020

2021

● Hope&Wishバケーションハウス 「青と碧と白と沖縄」オープン

沖縄県国頭郡恩納村に、誰もが宿泊できるバケーションハウスをオープンしました。



● 働きがいのある 会社ランキング3位受賞

● めんそれ沖縄地域連携 ネットワーク協議会 発足

沖縄県にて難病児及び障がい児の受け入れを目的とした地域連携ハブ拠点のモデル作りをスタートしました。

● 児童発達支援事業 「ダイジョブ・プラス」を開設

居宅訪問方児童発達支援と保育所等訪問支援の事業を開始しました。医療が必要な子どもの自立する力を大切にして発達支援を行っていきます。



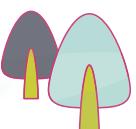
● 100年カレンダー セミナー開始

代表大住力の著書「一度しかしない人生を『どう生きるか』がわかる100年カレンダー」のセミナーを開始しました。



社会貢献支援財団

● 第56回 社会貢献者受賞



● Ready to Stand プロジェクト始動

100年カレンダーセミナーを軸に、Ready to Stand(立ち上がる勇気)プロジェクトを始動します。

2022～
これから



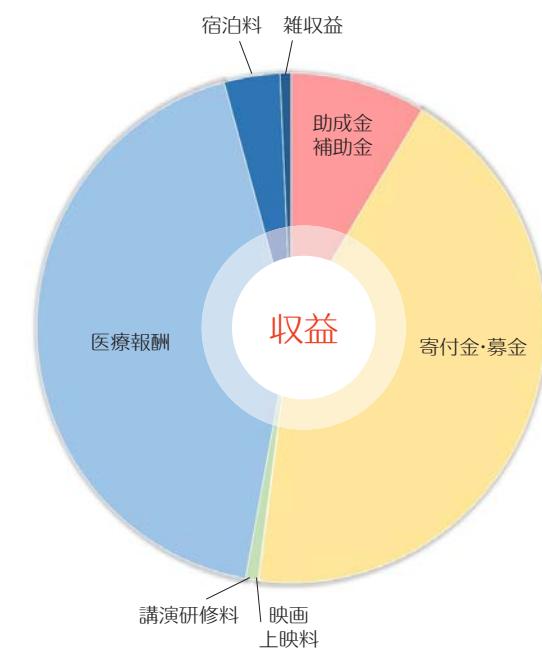
財務会計報告

2020年度（2020.11-2021.10）の収支は以下の通りです。

■ 収益

単位：円

助成金・補助金	9,490,375
寄付金・募金	47,705,600
映画上映料	80,290
講演研修料	858,470
医療報酬	47,181,796
宿泊料*	3,901,793
雑収益	750,112
合計	109,968,436

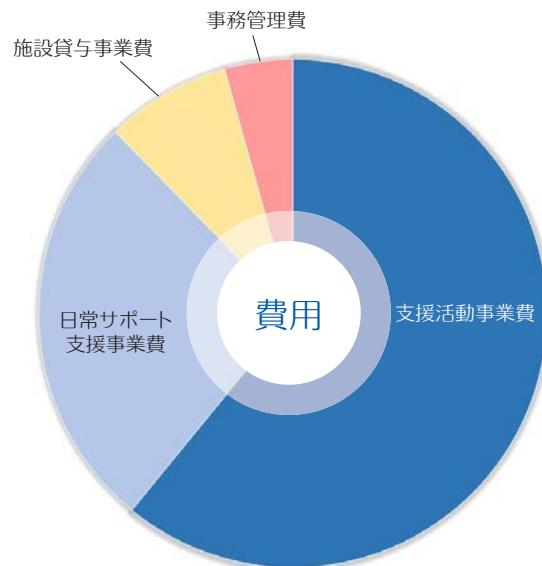


*Hope&Wishバケーションハウス 青と碧と白と沖縄での宿泊料となります。

■ 費用

単位：円

支援活動事業費*	48,035,862
日常サポート支援事業費	21,092,286
施設貸与事業費*	6,303,502
事務管理費	3,416,023
合計	78,847,673



*啓発宣伝事業費、地域普及事業費、募金活動事業費は、支援活動事業費に含まれます。

*施設貸与事業費とは、Hope&Wishバケーションハウス 青と碧と白と沖縄の管理運営事業となります。

さまざまな支援方法

当団体は皆さまからのご支援・ご協力により活動することができます。全国の皆さまからのご寄付に加えてさまざまな形によるご支援方法がございます。いま、あなたができることを…皆さまからのご協力をお願いいたします。



ご寄付の用途



マンスリー会員(毎月のご寄付)
毎月1,000円から始められます。クレジットカード、銀行口座振替のお支払方法をお選びいただけます。

都度寄付(単発のご寄付)
クレジットカードまたはゆうちょ銀行へのお振り込みが可能です。

年間法人会員
年間30万円の会費で企業の皆様に毎月の安定したご協力をお願いしています。

チャリティ商品売上の寄付
商品・サービス等、売上の一部を社会貢献活動としてご活用いただけます。

ビタミン基金
法人向けの健康経営を実践することにつながる基金です。対象企業に出産、ワークライフバランスなど、幅広い課題に対するセミナーも実施します。

うかじいまーる基金
24時間365日、難病を患う子どもとその家族のレスパイト（休息）施設、「青と碧と白と沖縄」の運営のための寄付となります。

サービス支援
普段行っているサービスや提供している商品等、さまざまなかたちでの支援を募っています。

遺贈・相続による寄付
遺贈とは、遺言書により、遺産の一部または全部を、特定の個人や団体に贈与することです。当団体への遺贈は税制優遇が受けられ、相続税がかかりません（一部を除く）。また相続税の申告期限内にご寄付いただいた相続財産には、相続税が課税されません。

ドキュメンタリー映画
『Given～いま、ここにあるしあわせ～』自主上映会
当団体が企画・製作・配給したドキュメンタリー映画の自主上映会を開催する団体・企業を募集しています。

女性和太鼓奏団「ひまわりのやうに」
難病を患う子どもを授かった「全員“お母さん”」で結成。現在、年間の活動費用（交通費、和太鼓の移送費、練習場所代）をサポートしていただけるスポンサーを募集しています。

中央区ふるさと納税「ふるさと中央区応援寄附」
東京都中央区のふるさと納税「ふるさと中央区応援寄附」の応援団体として認定されています。

LEA研修
家族とのテーマパーク同行体験や、ボランティア等の体験をもとに人間力を形成。社員研修がそのまま社会貢献になるという、画期的な試みです。

ソコリキ教育研究所
当団体の代表大住力の講演や研修、コンサルティングの窓口「ソコリキ教育研究所」では、その収益を『Hope&Wish』に寄付し、活動運営費に活用しています。

褒章制度
内閣府より、私財を寄付された個人や法人に授与される「紺綏褒章」の公益団体認定を受けております。個人の方は500万円以上、法人・団体は1,000万円以上のご寄付をいただいた場合に、天皇から授与される紺綏褒章授与申請の対象となります。遺贈・相続によるご寄付も対象になります。

*当団体は内閣府より「公益社団法人」の認定を受けています。当団体への寄付金は特定公益増進法人に対する寄付金の特例（法人税法施行令77条第1項第3号）として、個人・法人とともに寄付金控除の対象となります。

ご寄付・ご支援について詳しくは、公式ホームページ（<https://www.yumewo.org/>）をご覧いただくか、お電話にてお問い合わせください。